

平成24年度

第1次野洲市総合計画改訂版

ロードマップ

基本目標	施策	事業通番	基本事業	マニフェスト		担当部	所属名	新規継続拡充	計画期間		事業全体の概要	事業全体の達成目標	総事業費見込み		
				SEQ	政策項目番号				始期	終期			総額(千円)	内一般財源(千円)	
1	豊かな人間性をはぐくむまち														
1	①子育て・子育て支援の充実														
1	豊かな人間性をはぐくむまち	①子育て・子育て支援の充実	1	就学前保育の充実と幼保一体化の推進	111 304 305 307 308	01-3 15-2 15-2 15-2 15-2	健康福祉部	子ども家庭課	継続	平成23年度	-	就学前の教育と保育を取り巻く課題の解決に向け、国の動向、市の就学前教育・保育の現状を踏まえ、子どもたちを心身共に健やかに育むために、幼稚園と保育園が連携して取り組むべき施策及び今後の市立幼稚園と保育所のあり方の基礎となる「野洲市乳幼児保育振興計画」や「野洲市幼保一元化方針および幼稚園・保育園施設整備計画」に基づいて施策の展開を図るとともに、低年齢児保育の拡大に必要な施設改修等を進めます。	「野洲市乳幼児保育振興計画」の推進を図り、子育て家庭を支えるために既存の幼稚園・保育園・子育て支援センターをより効率よく活用し、子育て支援をきめ細かく実施します。また、「野洲市幼保一元化方針及び幼稚園・保育園施設整備計画」に基づいて施策の展開を推進し、安心して産み・育てられる環境づくりを進めます。	-	-
			2	児童虐待の防止 (児童虐待防止緊急強化事業)	-	-	健康福祉部	子ども家庭課	新規	平成24年度	平成24年度	児童虐待防止を身近な問題として理解を深めてもらい、早期発見・早期対応のための広報啓発や研修会を開催し、児童虐待防止対策に取り組みます。	滋賀県市町児童虐待防止対策緊急強化事業補助金を活用し、広報啓発・関係職員等の資質の向上を図ります。	-	-
			3	子育て短期支援事業 (短期入所生活援助事業・夜間養護等事業)	-	-	健康福祉部	子ども家庭課	新規	平成24年度	-	①短期入所生活援助(ショートステイ)事業(委託)161千円(国60千円) 保護者が疾病、疲労その他身体上もしくは精神上の理由により家庭において児童を養育することが一時的に困難になった場合に、その児童を児童養護施設等で養育し、家庭福祉の向上を図ります。 ②夜間養護等(トワイライトステイ)事業(委託)55千円(国16千円) 保護者が仕事その他の理由により平日の夜間又は休日に不在となり児童を養育することが一時的に困難となった場合に、その児童を児童福祉施設等において保護し、生活指導、食事の提供等を行い、家庭福祉の向上を図ります。	野洲市次世代育成支援行動計画(後期計画)に基づき、実施施設(児童養護施設)を1ヶ所設置(委託)し、家庭児童相談において有効な手段として機能させ、一時的に児童を預かることで保護者の精神的・身体的負担を緩和し子育て家庭の福祉の向上を図ります。	-	-
1	豊かな人間性をはぐくむまち														
1	豊かな人間性をはぐくむまち														
			②青少年の健全育成												
			4	地域子ども教室(子どもの居場所づくり)事業	-	-	教育委員会	生涯学習スポーツ課	継続	-	-	市が国、県からの補助を受け、子どもが健やかに育つための活動を行う7学区の地域教育協議会を支援します。	子どもの居場所づくりのための各種の催しが7学区コミセンにおいて自主的かつ活発に実施されており、多数の子ども参加を促し、地域と家庭の連携を進めます。	-	-

<有効性> 施策の実現性に対して・・・A：非常に有効・B：まあまあ有効・C：どちらともいえない・D：あまり有効とはいえない・E：疑問がある

<効率性> 費用対効果が・・・A：非常に高い・B：まあまあ高い・C：どちらともいえない・D：あまり高くない・E：悪い

<進捗度> 事業の目標を・・・A：達成した（完了した）・B：予定通り進行中（継続中）・C：着手したが予定より遅延・D：未着手・E：中止等

<総評価> 事業を・・・A：今後も継続すべき・B：できれば継続すべき・C：どちらともいえない・D：中止してもかまわない・E：中止すべき

平成24年度計画		平成25年度予算		平成26年度予算		平成24年度実績評価（A・B・C・D・E）					備考 （評価理由・今後の課題など）	
事業概要・年度目標	予算額 （千円）	内一般財源 （千円）	見込額 （千円）	内一般財源 （千円）	見込額 （千円）	内一般財源 （千円）	事業実績	有効性	効率性	進捗度		総評価
「野洲市幼保一元化方針および幼稚園・保育園施設整備計画」および「野洲市乳幼児保育振興計画」に基づいて、施策の展開を推進します。また、平成26年度に開園を目指している(仮称)野洲第3こども園の事業用地の取得が完了したことから、平成24年度において事業用地の造成工事と園舎実施設計を今年度末までに完了する予定である。	94,000	4,700	271,800	34,300	313,600	145,500						男女共同参画の推進にも関連。 「野洲市幼保一元化方針および幼稚園・保育園施設整備計画」に基づき平成27年度の完了を到達目標とします。 今後の施策は幼保一元化との関連の中で進めていきます。 国の「子ども・子育て新システム」の動きに合わせて整備計画の見直しが必要になる可能性もあります。 23年度、篠原こども園開園。
・広報啓発事業として、市民向け啓発講座の開催、広報啓発資材の作成、ファミリー向けイベントの開催 ・関係機関向けの専門的な研修の開催および参加	2,465	1										市民の児童虐待防止の意識を高めるとともに、関係機関（市要保護児童対策地域協議会）の連携を図ることにより、児童虐待を防止し、子どもの健やかな育ちを支援する必要があります。 H23年度、児童虐待相談件数：198件（前年度128件）
・実施施設との委託契約 ・各事業の広報・周知	216	140	216	140	216	140						核家族化や地域社会の希薄化に伴い、育児疲れを感じている保護者、疾病時に近隣に頼れる親族等がない家庭に対して、一時的な養育が行える社会資源の確保が必要となってきました。
①各小学区全てで「子どもの居場所づくり事業」を実施を目指します。 ②各学区の特色や実態を勘案しながら、事業内容等を検討し、事業の活性化を図ります。	2,361	2,361	2,361	2,361	2,361	1,787						・補助金が県費・市費に分かれコミセンでの経理事務が煩雑になっています。 ・各学区の事業取組の差が大きい。 ・児童の参加を更に増やす必要があります。

基本目標	施策	事業通番	基本事業	マニフェスト		担当部	所属名	新規継続拡充	計画期間		事業全体の概要	事業全体の達成目標	総事業費見込み		
				SEQ	政策項目番号				始期	終期			総額(千円)	内一般財源(千円)	
1 豊かな人間性をはぐくむまち	③学校教育の充実	③学校教育の充実													
		5	学校教育の充実を図るための支援体制の整備 特別支援教育の充実と不登校対策	113 333	02-1 18-3	教育委員会	学校教育課 ふれあい教育相談センター	継続	-	-	障がいのある児童・生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じたきめ細やかな指導を進め、学校教育の充実を図るため、特別支援教育担当の割愛教員の配置や小学校における特別支援教育支援員の重点配置を行います。 また、不登校児童・生徒への支援を図るため、心のオアシス相談員の重点配置により、校内における支援体制を充実させ、家庭・保護者との連携を密に図ります。	障がいのある児童・生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、適切な対応を図ります。 特別支援教育コーディネーター・マネジメント加配の増員 ・平成24年度3名 ・平成25年度6名 ・平成26年度9名 魅力ある学校づくりや初期対応を丁寧に行うことにより不登校の未然防止に努めます。また適応指導教室の活用等により支援を行い学校復帰の支援を行います。 ・心のオアシス相談員の継続	-	-	
		6	小中学校施設整備	-	-	教育委員会	施設整備室		平成23年度	平成24年度	祇王小学校の校舎増築工事	・平成24年度で工事実施。 ・平成25年4月より使用を開始。 ・(平成23年度で設計は済み)	224,175	48,245	
	7	野洲北中学校柔剣道場新築事業	-	-	教育委員会	施設整備室		平成24年度	平成25年度	野洲北中学校における柔剣道場の新築整備	・平成24年度で設計。 ・平成25年度で建築工事実施。 ・平成26年4月から使用を開始。	129,075	5,403		
	1 豊かな人間性をはぐくむまち	④生涯学習・生涯スポーツの推進	④生涯学習・生涯スポーツの推進												
8			成果発表の場の提供拡大と情報発信の支援	127 128	03-3 03-4	教育委員会	生涯学習スポーツ課	継続	-	-	日頃の創作活動の成果発表の場の拡大のため、図書館などの公共施設のスペースを積極的に提供し、また、コミセンとの連携により、身近な発表と交流の場づくりの支援を実施します。また、市の広報紙によるイベント周知やマスコミへの情報提供を実施します。特に人通りや集客力の高い公共施設、スペースを積極的に提供します。	・市民の日頃の創作活動の成果発表の場として図書館、コミセンを積極的に活用します。 ・イベントの周知をマスコミ等を通じて強化します。 ・駅前広場、店舗スペースなどを発表の場、イベントに活用します。	-	-	
9			総合型地域スポーツクラブの支援と各種体育、スポーツ団体の連携強化	129	03-4	教育委員会	生涯学習スポーツ課	継続	-	-	総合型地域スポーツクラブは、子どもから高齢者までスポーツに親しみ交流でき、地域の活性化にも貢献しており、指導者の育成や自立にむけた支援を実施します。また、各種体育、スポーツ団体の連絡調整を行い、スポーツ活動の裾野の拡大をはかります。	・子どもから高齢者までが日常的にスポーツを行う場として「ほほえみ」「さざなみ」両クラブが市民の生活に密着している。 ・両クラブ、その他体育、スポーツ団体による活発な活動が展開され、市民の多くが参加している状況になります。	-	-	

<有効性>施策の実現性に対して・・・A：非常に有効・B：まあまあ有効・C：どちらともいえない・D：あまり有効とはいえない・E：疑問がある

<効率性>費用対効果が・・・A：非常に高い・B：まあまあ高い・C：どちらともいえない・D：あまり高くない・E：悪い

<進捗度>事業の目標を・・・A：達成した(完了した)・B：予定通り進行中(継続中)・C：着手したが予定より遅延・D：未着手・E：中止等

<総評価>事業を・・・A：今後も継続すべき・B：できれば継続すべき・C：どちらともいえない・D：中止してもかまわない・E：中止すべき

平成24年度計画		平成25年度予算		平成26年度予算		平成24年度実績評価 (A・B・C・D・E)					備 考 (評価理由・今後の課題など)	
事業概要・年度目標	予算額 (千円)	内一般財源 (千円)	見込額 (千円)	内一般財源 (千円)	見込額 (千円)	内一般財源 (千円)	事業実績	有効性	効率性	進捗度		総評価
不登校児童・生徒への支援 ・「個別指導記録シート」の試行 ・教育研究所「教師育成塾」での研修 ・心のオアシス相談員や学生支援員等の活用 特別支援教育に関わる市内のシステム作り及び支援の充実特別支援教育に関わる市内のシステム作り及び支援の充実 ・特別支援教育推進協議会において多方面からの意見を聴取し、市内のシステムづくりに生かします。 ・各種研修会を開催して、教職員の資質向上を目指します。 ・巡回相談会、専門家チームの活用により幼児児童生徒の理解を充実させ、授業改善に生かします。 「個別の指導計画」の作成管理を推進し「個別の教育支援計画」の導入を検討する。 ・滋賀大学教育学部や大阪医科大学、滋賀県立小児保健医療センターなど関係機関と連携します。	29,462	29,290	34,061	33,889	38,660	38,488						特別支援教育及び不登校に関する「個別の指導計画作成マニュアル」を完成させました。これを活用し、各校園における「個別の指導計画」作成を充実させます。 <今後の課題> ・特別支援教育コーディネーターの資質向上 ・各校園所における保育、授業の改善（特に読み書き障がいを意識した取り組み） ・個別の教育支援計画の作成
祇王小学校校舎増築	224,175	48,245	—	—	—	—						・ 日常の授業と平行しての工事となることで、これへの配慮と、安全に留意した工事計画となるよう留意すること。
実施設計	13,200	698	115,875	4,705	—	—						・ 工事計画の立案に際しては、授業また安全確保に留意したものとすること。
①文化ホール(小劇場)のホールを活用して「野洲文化芸術祭」を開催。 ②市内施設を回っての音楽のまちづくり事業を展開(市民活動支援センター) ③市広報紙、ホームページを活用するなどしてイベント情報の周知の場を提供していきます。	240	240	240	240	240	240						市民活動支援センター等との連携は模索しているものの、市民側への利用可能施設に関する情報が十分に行き届いていないと思われます。文スポーツ事業団との連携も必要。 H24予算内訳 ①173千円、②67千円
①各スポーツ関係団体が有機的に連携協力できる体制づくりに向けての取り組みに努めます。 ②「さざなみ」「ほほえみ」両スポーツクラブへの支援を行い、健康づくりを推進していきます。	6,741	6,741										○軽スポーツをやっている人、やりたいと思っている人の支援。 ○市民の健康づくりへの意識づけが必要です。 H24予算は団体補助金 さざなみ 2,282千円 ほほえみ 4,459千円 ○スポーツ基本法の制定以降の国の動向に留意が必要です。

基本目標	施策	事業通番	基本事業	マニフェスト		担当部	所属名	新規継続拡充	計画期間		事業全体の概要	事業全体の達成目標	総事業費見込み		
				SEQ	政策項目番号				始期	終期			総額(千円)	内一般財源(千円)	
1 豊かな人間性をはぐくむまち	⑤人権の尊重と恒久平和の実現														
	10		「人権侵害救済法」等制定への取組み継続	104	01-1	総務部	人権施策推進課	継続	-	-	人権救済のための法的整備の実現を、関係機関とともに引き続き要望します。	人権侵害救済法の早期実現	-	-	
	11		市職員、市立学校教職員の人権教育の充実	105	01-1	総務部 教育委員会 健康福祉部	人事課 学校教育課 子ども家庭課	継続	-	-	①すべての職員が人権施策の担い手として、自ら課題を発見し行動できる力を身につけるための研修を計画的に進める。 ②全体研修や各校園所における主体的な研修の一層の充実を図ります。	すべての職員が、市民に対する啓発を業務の内外において推進していく自覚と力をつける。 教職員が、一人の人間として差別をなくす姿勢に立ち、子どもたちに向き合っていくことが重要であり、日々の実践を振り返りながら教育活動に生かしていきます。	-	-	
1 豊かな人間性をは	⑥多文化共生社会の実現														
	12	⑥多文化共生社会の実現	姉妹都市交流事業	-	-	政策調整部	企画調整課	継続	-	-	米国ミシガン州クリントンタウンシップとの姉妹都市交流使節団の相互派遣を行います。	市主催で市民レベルでの異文化交流の進展を図ります。 (毎年度目標交流人数20人)			
2 人とひとが支え合う安心なまち	①健康づくりの推進														
2 人とひとが支え合う安心なまち	13	①健康づくりの推進	地域医療の再構築	324	17-2	健康福祉部	健康推進課	継続	-	-	休日・夜間の急患に対応しつつ、2次医療の崩壊を防止し、併せて入院から在宅療養に至るまでの切れ目のない一貫した医療が提供できるよう、地区医師会や在宅看護介護関係機関や関係者に理解と協力を求め、効果的な地域医療のあり方について検討を進めます。	地域医療あり方検討会（21年度創設）で地域の医療を含む在宅ケア（ライフサイクル応じたケア）の関係者が情報を共有し、初期救急や周産期や在宅療養支援等の課題解決に向けた検討と取り組みに努めます。 なお、初期救急は湖南広域休日急病診療所あり方協議会で別途検討を進めます。この進捗を見ながら市あり方検討会の救急部会で必要時検討します。	-	-	
	14		新病院整備の可能性に係る検討	-	-	政策調整部	地域戦略室	継続	平成23年度	平成24年度	市民への医療サービス提供のあり方と本市が新病院を整備する可能性について検討します。	市民への医療サービス提供のあり方と本市が新病院を整備する可能性について、考え方をまとめます。	4,083	4,083	

・24年度秋までに新たな場所を協議し、結論を出す
 ・25年度中の開設
 25年4月から湖南広域行政組合方式の運営移行をめざす

<有効性>施策の実現性に対して・・・A：非常に有効・B：まあまあ有効・C：どちらともいえない・D：あまり有効とはいえない・E：疑問がある
 <効率性>費用対効果が・・・A：非常に高い・B：まあまあ高い・C：どちらともいえない・D：あまり高くない・E：悪い
 <進捗度>事業の目標を・・・A：達成した（完了した）・B：予定通り進行中（継続中）・C：着手したが予定より遅延・D：未着手・E：中止等
 <総評価>事業を・・・A：今後も継続すべき・B：できれば継続すべき・C：どちらともいえない・D：中止してもかまわない・E：中止すべき

平成24年度計画		平成25年度予算		平成26年度予算		平成24年度実績評価（A・B・C・D・E）					備 考 （評価理由・今後の課題など）	
事業概要・年度目標	予算額 （千円）	内一般財源 （千円）	見込額 （千円）	内一般財源 （千円）	見込額 （千円）	内一般財源 （千円）	事業実績	有効性	効率性	進捗度		総評価
「部落解放・人権政策確立要求びわこ南部地域実行委員会」において、署名活動・広報紙「基本法ニュース」の発行を行うなど、継続して組織を通じた取組みに努めます。	—	—	—	—	—	—						
市組織の内部で講師やファシリテーターとして行動できる知識やスキルを身につけるため、集合研修と職場研修をリンクさせた研修方法を導入し（平成23年度）職場研修を中心に広めていく。	—	—	—	—	—	—						・ 職場研修推進員を対象にした研修を数年間続けることにより、全職員が受講できるよう継続した取り組みとします。 ・ 同和問題から発生した研修手法であるが、他の分野にも広めます。
クリントンタウンシップへ交流使節団を派遣します。（派遣団予定人員20人）	1,793	1,793	500	500	1,800	1,800						
地域医療あり方検討会の全体会は年1回開催4部会は随時開催します。 ①在宅ケア部会：在宅療養手帳の運用検証（24年度から運営は医師会に移行）を9月、うつ病・認知症等精神疾患の対応について検討 ②訪問看護部会：市内訪問STの協力体制について検討 ③母子保健部会：周産期支援について事例検討 ④救急部会：当面休止 初期救急について：当面は現草津栗東休日診療所で湖南広域休日急病診療所を実施（24年4月スタート） 併せて湖南広域休日急病診療所あり方協議会で望ましい場所・運営主体・体制について年度内に結論が得られるよう検討を進めます。	485	485										初期救急の休日急病診療所を湖南広域で実施（24年4月スタート）当面は現草津栗東休日診療所で実施 数値として把握できるのは在宅療養手帳の登録であり、H23実績で89件である。（作成数は300）
市民への医療サービス提供のあり方と本市が新病院を整備する可能性について検討します。	3,240	3,240	—	—	—	—						

基本目標	施策	事業通番	基本事業	マニフェスト		担当部	所属名	新規継続拡充	計画期間		事業全体の概要	事業全体の達成目標	総事業費見込み	
				SEQ	政策項目番号				始期	終期			総額(千円)	内一般財源(千円)
2 人とひとが支え合う安心なまち	②高齢者福祉の充実	15	地域包括支援センターの充実・認知症相談機能の充実	314 319	16-1 16-3	健康福祉部	地域包括支援センター	継続			地域包括支援センターにおける介護予防事業、認知症等の相談・サービスコーディネート機能の強化を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活圏域の特性や課題をふまえ、3職種のチームケアを強化する体制をつくりま 要支援要介護状態の軽減もしくは安定保持を図るため、高齢者1人ひとりの状態にあった介護予防ケアマネジメントを行います。 認知症対策の連携会議は高齢福祉課の主体的な関わりから圏域の地域ケア会議で対応していきます。 		
			「認知症サポーター」制度の普及促進	320	16-3	健康福祉部	地域包括支援センター	継続			認知症の高齢者とその介護者の現状を社会全体が知り理解することで、地域社会における見守り支援を強化する必要があります。社会啓発のみならず、学校における教育現場で実施するほか、職場における若年性認知症の理解のために、事業者に対して「認知症サポーター」の普及を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> 1中学校と1小学校への「認知症サポーター養成講座」を実施した上で全学校への普及を検討します。 		
2 人とひとが支え合う安	②高齢者福祉の充実	16												

<有効性>施策の実現性に対して・・・A：非常に有効・B：まあまあ有効・C：どちらともいえない・D：あまり有効とはいえない・E：疑問がある

<効率性>費用対効果が・・・A：非常に高い・B：まあまあ高い・C：どちらともいえない・D：あまり高くない・E：悪い

<進捗度>事業の目標を・・・A：達成した（完了した）・B：予定通り進行中（継続中）・C：着手したが予定より遅延・D：未着手・E：中止等

<総評価>事業を・・・A：今後も継続すべき・B：できれば継続すべき・C：どちらともいえない・D：中止してもかまわない・E：中止すべき

平成24年度計画		平成25年度予算		平成26年度予算		平成24年度実績評価（A・B・C・D・E）					備 考 （評価理由・今後の課題など）	
事業概要・年度目標	予算額 （千円）	内一般財源 （千円）	見込額 （千円）	内一般財源 （千円）	見込額 （千円）	内一般財源 （千円）	事業実績	有効性	効率性	進捗度		総評価
<ul style="list-style-type: none"> ・対応困難な高齢者等は、保健師、社会福祉士、主任ケアマネの3職種をチームとし、各中学校圏域ごとの班編成を行いチームで対応します。 ・介護予防事業は、百歳体操のグループの拡大を図ります。 ・認知症相談機能等は関係機関と連携し圏域のケア会議で強化を図ります。 	709		709		709							<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の個別ケースについての支援の方法・方向性を検討したり、圏域の問題や課題を検証する場としての圏域地域ケア会議について、野洲北中圏域の体制づくりは出来ているが、他2圏域（野洲・中主）については、立ち上げに至っていない。また3職種の専門職員の不足が課題 ・百歳体操（地域で週1回以上活動する5人以上のグループで体操に必要なビデオ・DVDやおもりを貸し出し、初回4回程度は講師を派遣する）を地域で市民が主体的に実施し、継続できるかが課題 ・今後ますます増加することが見込まれる認知症高齢者の支援に向けて、市民、介護サービス事業者等関係機関との連携が必要
子どもたちへの啓発として教育現場でのサポーター養成講座の開催が可能か検討します。			101		101							認知症の理解が幅広い年齢層へさらなる拡大が必要

基本目標	施策	事業通番	基本事業	マニフェスト		担当部	所属名	新規継続拡充	計画期間		事業全体の概要	事業全体の達成目標	総事業費見込み		
				SEQ	政策項目番号				始期	終期			総額(千円)	内一般財源(千円)	
心なまち 2 人とひとが支え合う安心なまち 2 人とひとが支え合う安心なまち 2 人とひとが支え合う安心なまち	③障がい者福祉の充実	③障がい者福祉の充実	③障がい者福祉の充実												
			17	重度障がい者通所生活訓練援助施設の拡充	316	16-1	健康福祉部	障がい者自立支援課	継続	平成21年度	-	特に支援が必要な重度の障がい者の特別支援学校等卒業後の進路先等、日中活動の場の確保に向けた拠点施設の整備を湖南圏域で進めるとともに、必要な支援の拡充を図ります。	特に支援が必要とされる重度心身障がい者や強度行動障がい者等の日中活動の場の確保に向けた施策を講じることにより、特別支援学校等の卒業生や在宅の重度の障害者が必要に応じ、適切な支援が受けられる状態を確保します。	-	-
			18	ケアホーム、多機能な障がい者地域生活支援拠点の整備・支援	317	16-1	健康福祉部	障がい者自立支援課	拡充	平成22年度	平成26年度	・「暮らす」、「創る」、「働く・集う」、「暮らしを支える」といった多様な機能を持った施設として、障がいのある人の多様な活動や、相談、情報提供等のサービスの拠点となる市内での施設整備に関し、調査・研究を行い、市・事業所・利用者等がそれぞれの役割分担・連携しながら支援を進めます。	障がい者にとって将来における居住の場としてグループホームやケアホームが有効なことから、グループホーム等が必要数整備されるよう支援します。又、将来のグループホーム等の利用に備え、学齢期後半からの生活訓練を通して多くの障がい児等が円滑にグループホーム等を利用できる力を身につけられるよう取り組みます。	18,900	18,270
			19	発達支援センターにおける就労支援と障がい者窓口相談の充実	332	18-2	健康福祉部	発達支援センター				心身の発達に支援を必要とする人やその家族、支援者などを対象に、相談者の生活の向上・福祉の増進を目指す相談支援業務を行います。	・相談者のニーズや障がい特性等を十分に考慮し、関係する部署（障がい者自立支援課・商工観光課・市民生活相談室など）や関係機関（働き・暮らし応援センター「りらく」など）との連絡調整を密にし、社会参加（就労を含む）を実現できるよう相談・支援を行います。		
20	障がい者の相談支援体制の再整備			健康福祉部	障がい者自立支援課 発達支援センター 健康推進課	新規	平成24年度	平成27年度	障がい者やその家族が地域で安心して暮らすためには、継続的かつ専門的な相談支援体制を確保する必要があります。このため、地域の実情（資源の少なさ）や法改正（3障がいの一元化と相談支援機能の拡充）に対応しながら、当事者家族等が利用しやすい障がい者相談機関の設置に向け、支援機能やその体制を計画的に再構築します。	・H24. 10月 障害者虐待防止センターの設置 ・H25～H26 特定相談支援事業者等社会資源の確保に向けた対応（特定相談支援） ・H27. 4月 3障害一元化による相談支援体制の整備（一般相談支援）	581	53			

<有効性>施策の実現性に対して・・・A：非常に有効・B：まあまあ有効・C：どちらともいえない・D：あまり有効とはいえない・E：疑問がある
 <効率性>費用対効果が・・・A：非常に高い・B：まあまあ高い・C：どちらともいえない・D：あまり高くない・E：悪い
 <進捗度>事業の目標を・・・A：達成した（完了した）・B：予定通り進行中（継続中）・C：着手したが予定より遅延・D：未着手・E：中止等
 <総評価>事業を・・・A：今後も継続すべき・B：できれば継続すべき・C：どちらともいえない・D：中止してもかまわない・E：中止すべき

平成24年度計画		平成25年度予算		平成26年度予算		平成24年度実績評価（A・B・C・D・E）					備 考 （評価理由・今後の課題など）	
事業概要・年度目標	予算額 （千円）	内一般財源 （千円）	見込額 （千円）	内一般財源 （千円）	見込額 （千円）	内一般財源 （千円）	事業実績	有効性	効率性	進捗度		総評価
○重症心身障がい者通所施設（たいよう）の整備 ・平成23年度において国の第4次補正予算で本補助金額の全額について交付内示があったことから、福祉圏域4市で平成24年8月の開所に向けた事業の進行管理を行うとともに、利用者等への情報提供その他必要な支援を行います。 ・年度途中の開設に向けた建設費及び運営費の負担（建設費：30,501千円、運営費：995千円） ○〔新〕強度行動障がい者への対応 ・生活介護事業所における重度の強度行動障がい者の受入促進に向けた加算費制度の創設（加算費4,368千円）	35,864	13,264	4,368	4,368	4,368	4,368						重症心身障害者の通所施設については、特別支援学校在校生からみた利用者想定では平成30年度には定員を上回る予定であることから、今後の整備計画を早期に検討する必要があります。
【新】 ○グループホーム・ケアホーム施設整備補助制度の創設（6,000千円） 【新】 ○知的障がい児宿泊型生活訓練事業への支援（240千円）	6,240	6,060	6,420	6,105	6,240	6,105						生活を支える多機能な支援（要素）は、相談支援体制の機能強化により解決できることから制度改正と併せて検討を進める必要があります。
・相談支援に関係する部署・機関などとの定期的な情報共有会議やタイムリーな連絡調整により連携強化を図る。 ・保育園・幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校・就労支援事業所などと連携し、早期対応に向けた専門職（心理判定員）による巡回発達相談を実施する。 ・社会参加促進事業を有効活用し、ニーズに合わせた社会参加（就労を含む）に向けた相談支援を実施する。	1,021	1,021										・法改正に伴う、障がい者相談支援事業のあり方について、全庁で将来的な組織編成を見据えた検討をすることが必要である。
「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律」の施行されることから、市に障がい者虐待防止センターを設置し、関係機関や市民への啓発を行います。 ・通報システムの構築と庁内連携の検討 ・啓発事業の実施（講演会及び街頭啓発の実施）【補正予算対応】	581	53										市組織における障がい者相談窓口の機能の再整備に向けた調整が必要となる。

基本目標	施策	事業通番	基本事業	マニフェスト		担当部	所属名	新規継続拡充	計画期間		事業全体の概要	事業全体の達成目標	総事業費見込み		
				SEQ	政策項目番号				始期	終期			総額(千円)	内一般財源(千円)	
2 人とひとが支え合う安心なまち	④地域福祉基盤の充実	21	④地域福祉基盤の充実	4地域福祉基盤の充実	318	16-2	健康福祉部	高齢福祉課	継続	-	-	富波乙地先の空き民家を改修し平成20年度に施設整備済み(『ぬくもりケアネット富波』)。新規のサービス受給者に対し積極的に小規模多機能型居宅介護施設の合理性等PRしニーズを喚起します。	施設の利用状況については、平成24年3月1日現在定数25人に対する登録者数は、18人で実際の利用者数は一日平均11.8人(通所の平均利用人数7.4人、泊まりの平均人数4.4人)です。	-	-
			⑤低所得者福祉の推進	22	多重債務者包括的支援プロジェクト	-	-	市民部	市民生活相談室	継続	-	-	社会状況の変化により生活困窮者が増加している現状に対応するため、税等を滞納している市民が、借金問題を抱えていないか確認を行い、そのような事態がある場合には、行政の総合力を活用して市民の生活困窮状態を解消し、健全な家計を取り戻すとともに生活再建を目的に実施します。	-	-
	⑥防火・防災対策の強化	23	⑥防火・防災対策の強化	⑥防火・防災対策の強化	346	20-3	健康福祉部	社会福祉課				災害時において、要援護者が迅速かつ安全に避難できるよう、地域における住民相互の支え合いの精神を活かしたしくみを構築し、必要な情報の共有化を図ります。	災害時要援護者避難支援計画をもとに、市民や自治会等に対し取り組みの必要性を周知し、自治会長と民生委員児童委員が連携し中心となって、対象者に要援護者登録と避難支援個別計画書の作成を呼び掛けていただき、災害時に要援護者の避難支援ができるよう、行政関係、民生委員児童委員、自治会長、避難支援者が必要な情報を共有します。	5,000	600
			24	東消防署施設整備	-	-	市民部	生活安全課	継続	平成22年度	平成25年度	湖南広域行政組合東消防署の移転新築を受託事業として実施します。		996,426	89,575
			25	(仮称)総合防災センター施設整備	-	-	市民部	生活安全課	継続	平成22年度	平成25年度	東消防署の移転新築に合わせて、新たに消防と防災体制の連携を図る施設を整備し、防災拠点として充実を図ります。		603,210	35,004

<有効性>施策の実現性に対して・・・A：非常に有効・B：まあまあ有効・C：どちらともいえない・D：あまり有効とはいえない・E：疑問がある
 <効率性>費用対効果が・・・A：非常に高い・B：まあまあ高い・C：どちらともいえない・D：あまり高くない・E：悪い
 <進捗度>事業の目標を・・・A：達成した（完了した）・B：予定通り進行中（継続中）・C：着手したが予定より遅延・D：未着手・E：中止等
 <総評価>事業を・・・A：今後も継続すべき・B：できれば継続すべき・C：どちらともいえない・D：中止してもかまわない・E：中止すべき

平成24年度計画		平成25年度予算		平成26年度予算		平成24年度実績評価（A・B・C・D・E）					備 考 （評価理由・今後の課題など）	
事業概要・年度目標	予算額 （千円）	内一般財源 （千円）	見込額 （千円）	内一般財源 （千円）	見込額 （千円）	内一般財源 （千円）	事業実績	有効性	効率性	進捗度		総評価
利用者家族・地域住民の代表（富波乙自治会長・富波乙民生委員）・知見を有する者・高齢福祉課職員等により構成される運営推進会議を隔月で年6回開催し、施設から、活動状況の報告をし、評価を受けるとともに、必要な要望・助言等を聴く機会を設けるなど適切な運営となるよう努めます。	—	—	—	—	—	—						現行の小規模多機能型居宅介護施設で充足しています。
借金問題による税金や使用料等の滞納者に対し、借金問題を解決することを促し、健全な家計を取り戻すことにより生活再建を図ります。また、これにより市民の支払い能力を高め、滞納改善に結び付けていきます。	—	—	—	—	—	—						
引き続き災害時避難支援計画のもと、各自治会に対し、取り組みの説明等をおこない順次、対象者に対する個別支援計画の策定が整備できるよう継続して取り組んでいきます。	0	0	100	100	500	500						各地域において要援護者の避難支援への取り組みの必要性を認識していただき、日々個別支援に取り組んでいただけるかが課題です。要援護者避難の個別支援計画について、手上げ方式により各自治会の取組みが進むよう、その仕組みづくりを行います。
湖南広域行政組合東消防署の移転新築を受託事業として 東消防署の整備工事に着手します。 （繰越197,019千円）24年度899,856千円	899,856	4,294			—	—						
東消防署の移転新築に合わせて、新たに消防と防災体制の連携を図る施設整備に着手します。 （繰越134,601千円）平成24年度444,341千円	444,341	20,969			—	—						

基本目標	施策	事業通番	基本事業	マニフェスト		担当部	所属名	新規継続 拡充	計画期間		事業全体の概要	事業全体の達成目標	総事業費見込み	
				SEQ	政策 項目 番号				始期	終期			総額 (千円)	内一般財源 (千円)
2 人とひとが支え合う安心なまち	防災対策の強化	26	地域防災計画の見直し	-	-	市民部	生活安全課	新規	平成 24 年度	平成 24 年度	原子力災害への対応等、市の防災体制や災害発生時の対応等を定めた地域防災対策の見直しを行います。		4,800	4,800
		27	雨水対策事業	-	-	都市建設部	道路河川課	継続	平成 23 年度	平成 27 年度	妓王井川排水区である市街地からの雨水対策として、童子川排水区である友川を雨水幹線として実施します。	L = 1,200m	550,000	140,000
⑦市民生活の安全性の確保														
	⑦市民生活の安全性の確保	28	市民相談総合推進体制の質的向上	328	18-1	市民部	市民生活相談室	拡充	平成 23 年度	-	社会問題化している、自殺、生活困窮、人権侵害など市民生活に関する深刻な問題に対し、関係課等が連携し、問題を解決するための積極的な施策の推進及び生活再建の支援を図るための対応等を強化します。		-	-
3 地域を支える活力を生むまち														
①商工業の振興														
3 地域を支える活力	①商工業の振興	29	商工業振興指針具現化事業	221	11-1	環境経済部	商工観光課		平成 24 年度	平成 28 年度	指針を具現化するため運営委員会を設置し、事業者等の役割及び行政の役割を明確にし商工業の活性化とまちの賑わいづくりを効率的に進めていきます。そのため市民、商工業者、行政等が協働連携する仕組みを作っていきます。	具体的な10事業がおおむね5年間で実行できるように、運営委員会を設置し、調査・研究をしながら、課題の検証をしていきます。また、5年毎にこの指針を見直し商工業の活性化とまちの賑わいづくりを実施していきます。		
		30	大規模先端事業所の操業開始支援	222	11-2	政策調整部	企画調整課	継続	-	-	誘致を図った大規模事業所について、制度を活用した優遇措置を講じ、円滑な操業開始を支援します。	事業所操業による税収の向上、市内在住者の雇用の拡大を図ります。	-	-
		31	ものづくりインストラクター養成スクールの開校と中小企業の経営改善指導	223	11-2	政策調整部	ものづくり経営交流センター	継続	-	-	産官学連携により、ものづくり経営交流センターを拠点とした地域産業の支援事業を展開します。	ものづくり技術を次世代に伝承し、地域の活性化を推進します。退職者などベテラン人材の持つ高度な知識・技術を地域の財産として活用し、経営改善のインストラクターを養成します。また、スクールを修了したインストラクターによる業務改善支援を実践し、生産力・収益力の向上による地域産業の活性化を目指します。	-	-

<有効性>施策の実現性に対して・・・A：非常に有効・B：まあまあ有効・C：どちらともいえない・D：あまり有効とはいえない・E：疑問がある
 <効率性>費用対効果が・・・A：非常に高い・B：まあまあ高い・C：どちらともいえない・D：あまり高くない・E：悪い
 <進捗度>事業の目標を・・・A：達成した（完了した）・B：予定通り進行中（継続中）・C：着手したが予定より遅延・D：未着手・E：中止等
 <総評価>事業を・・・A：今後も継続すべき・B：できれば継続すべき・C：どちらともいえない・D：中止してもかまわない・E：中止すべき

平成24年度計画		平成25年度予算		平成26年度予算		平成24年度実績評価（A・B・C・D・E）					備 考 （評価理由・今後の課題など）	
事業概要・年度目標	予算額 （千円）	内一般財源 （千円）	見込額 （千円）	内一般財源 （千円）	見込額 （千円）	内一般財源 （千円）	事業実績	有効性	効率性	進捗度		総評価
原子力災害への対応等、市の防災体制や災害発生時の対応等を定めた地域防災対策の見直しを行います。	4,800	4,800	—	—	—	—						
童子川第四排水区からの雨水対策として友川の河川改修を実施します。（L=200m）	42,818	3,318	176,500	38,340	205,750	55,530						
多重債務対策連絡部会、自殺防止対策連絡部会、人権対策連絡部会の3部会を設け、問題の解決のためのネットワーク形成や啓発活動、メンバーの知識習得、相談対応・支援策等の技術向上に努めます。	—	—	—	—	—	—						窓口業務の職員だけではなく、全ての職員が相談者の根底にある問題（多重債務や生活困窮など）の発見ができる視点を持つことまた業務へのモチベーションを高めるための手法（研修会やケース事例検討）の構築が必要です。
指針を具現化するため「大人のまちあそび事業」を実施し、市内商工業者の魅力を各団体や市民等が知っていくことで、商工業の活性化とまちの賑わいづくりを目標に実施します。	420	420										平成24年1月に策定委員会から提言を受け、庁議を経た後指針を策定しました。指針実現のためには商工業者だけでなく、市民及び各種団体等と連携し、効果的に取り組む必要があります。また運営委員会を設置し、具体的に10事業をどのような方法で実施するのか検証していく必要があります。
企業立地促進法に基づく産業集積区域内における新たな立地計画の情報収集をします。	—	—	—	—	—	—						企業立地促進法に基づく新たな地域産業活性化計画の検討が必要です。
ものづくりにおける高度な知識・技能を持つベテランの人材を経営改善のインストラクターとして育成するためのスクールを開校します。また、スクールで養成されたインストラクターによる中小企業の生産性向上や利益率改善などの経営改善を実践します。	8,934	2,034	8,934	2,034	8,934	2,034						ものづくり人材養成スクールで養成されたインストラクターが活躍できる場の確保と企業の希望にあわせた現場改善事業のフレキシブルな取組みが今後の課題です。

基本目標	施策	事業通番	基本事業	マニフェスト		担当部	所属名	新規継続拡充	計画期間		事業全体の概要	事業全体の達成目標	総事業費見込み	
				SEQ	政策項目番号				始期	終期			総額(千円)	内一般財源(千円)
3 地域を支える活力を生むまち	②農林漁業の振興		②農林漁業の振興											
			32 農地利用集積の促進強化	201	08-1	環境経済部	農林水産課	継続	-	-	・農地の利用集積については、これまでの取り組みの成果として担い手の確保が一定図られたことから、実際の利用集積率の向上をめざした指導を進め、他市他県に勝る強い農業経営を確立します。 ・集落営農組織の活性化に向けては、現在24の集落で組織化が図られていますが、米作についての共同化が課題であるため、補助事業等有効な支援対策を講じます。	・効率的かつ安定的な農業経営が地域の農用地の利用に占める面積のシェア及び面的集積の目標→面積のシェア70% なお、面的集積の目標については、農用地利用集積円滑化事業を実施して、農用地の利用集積にける面的集積の割合を高めていくことを目標とします。(基本構想) ・集落営農から農業生産法人化団体数→目標現在2団体→平成28年度5団体(振興計画)	-	-
			33 地産地消の推進	205	08-2	環境経済部	農林水産課	継続	-	-	地元の農業者が作った顔の見える安心・安全な農産物を地域内で消費するシステムを構築することにより、地域内自給の向上を図ります。	・学校給食センターにおける野菜地産率 →現在16.6%→平成28年度32.0%(振興計画)	-	-
			34 農林漁業施策における環境側面の強化	335	19-1	環境経済部	農林水産課	継続	-	-	農林漁業のもつ多面的機能の一つである環境機能の強化を図ります。具体的には、市民が主体となった湖岸のヨシ苗植栽等の琵琶湖の再生に向けた活動や、水源を守り育てる里山保全活動、農地・水・環境保全向上対策を推進します。	農業では、平成24年度から新たに5年間継続される「世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策」により、地域ぐるみの共同活動による農村の資源(農地・農業用水等)を保全します。また、「環境保全型農業直接支払交付金」により、環境こだわり農産物の生産にあわせて、温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動に取組む農業者に対して支援を行います。林業では、森林環境保全直接支援事業において、計画的な搬出間伐を実施すると共に、漁民の森づくりなど側面的支援を図ります。漁業では、あやめ浜再生対策事業や湖岸のヨシ苗等を守る為、側面的支援を行い環境側面の強化を図ります。	-	-
			35 地域農業マスタープランの策定	-	-	環境経済部	農林水産課	新規	平成24年度	平成26年度	地域で集落の農業の将来について協議を行い、今後の方向性を定めます。また、すでに設立されている集落営農組織について、経営安定化を支援します。	・人・農地プラン策定目標→全体集落の7割程度の策定	43,434	801

<有効性>施策の実現性に対して・・・A：非常に有効・B：まあまあ有効・C：どちらともいえない・D：あまり有効とはいえない・E：疑問がある
 <効率性>費用対効果が・・・A：非常に高い・B：まあまあ高い・C：どちらともいえない・D：あまり高くない・E：悪い
 <進捗度>事業の目標を・・・A：達成した(完了した)・B：予定通り進行中(継続中)・C：着手したが予定より遅延・D：未着手・E：中止等
 <総評価>事業を・・・A：今後も継続すべき・B：できれば継続すべき・C：どちらともいえない・D：中止してもかまわない・E：中止すべき

平成24年度計画		平成25年度予算		平成26年度予算		平成24年度実績評価(A・B・C・D・E)					備 考 (評価理由・今後の課題など)	
事業概要・年度目標	予算額 (千円)	内一般財源 (千円)	見込額 (千円)	内一般財源 (千円)	見込額 (千円)	内一般財源 (千円)	事業実績	有効性	効率性	進捗度		総評価
・集落営農における米の協業経営を促進するため、集落営農水稲生産協業経営促進事業補助金を継続して実施します。 (10,000/10a) ・農業者戸別所得補償制度における、集落営農の法人化支援や担い手への農地の規模拡大加算については、野洲市農業再生協議会により支援を実施します。	400	100	2,000	2,000	2,000	2,000						※水田農業ビジョンでは、目標年次平成24年で法人化を7法人と設定しましたが、営農組合の設立に消極的な自治会が多いことから、引き続き働きかけが必要です。
・おいで野洲まるかじり協議会を通じ農産物を地域内で消費するシステムの構築を目指します。 ・米粉スイーツ活性化事業により農商工連携した地域の特産品の創出を目指します。 ・県事業である水田野菜生産拡大推進事業や学校給食野菜供給拡大事業を活用し、地産地消促進を図ります。	2,019	1,129	2,019	1,629	2,019	1,629						一部企業で取り止めとなりましたが、全体量では大きな減とはなっていません。
国(平成23年度より新制度)および知事特認(平成24年度より新制度)の環境保全型農業で実施の見込み。	44,759	29,194										国の制度ではハードルが高く取組が減少することが懸念されますが、今後の国や県の動向を注視する必要があります。 ・共同活動 1,783ha ・環境保全型農業 944ha ・搬出間伐 5ha
・集落の将来について協議をしていただき人・農地プランの策定を目指します。 ・人・農地プランに策定された担い手等の育成を図り、より実効性のある事業を目指します。	14,478	1	14,478	400	14,478	400						

基本目標	施策	事業通番	基本事業	マニフェスト		担当部	所属名	新規継続拡充	計画期間		事業全体の概要	事業全体の達成目標	総事業費見込み	
				SEQ	政策項目番号				始期	終期			総額(千円)	内一般財源(千円)
3 地域を支える活力を生むまち	③地域資源を生かした観光の振興	③地域資源を生かした観光の振興												
		36	観光資源の発掘と情報発信	224	11-3	環境経済部	商工観光課	継続	-	-	・地域資源の価値を再発見し、広く市内外にPRするために、既存の観光パンフレット等を改訂し「何が魅力で、どこで何ができるか」など、地域の魅力を発信します。 ・市内の店舗や観光関連事業者等が連携して観光振興を図るため、観光物産協会の法人化及び必要な組織を検討します。	商業観光や新たな産業観光（工場見学等）に着目し、従来からの社寺仏閣や史跡を巡るツアーに市内に点在する「こだわり商店」や「ものづくり工場」を歩きながら巡り、直接、製造過程を見ながら話を聞いたり、実際に体験できるツアーを実施します。また、生産者の顔が見える商品の紹介や、それにまつわる歴史的な背景や謂れ等、ストーリー性を持たせることで、安心、安全を参加者に印象付ける。リピーターやクチコミによる販路拡大により、商工業者への刺激や活性化にも繋がる効果に期待します。また、企画、運営にあたっては、行政だけでなく「市民主体型」で、さまざまな観点から計画します。	-	-
4 美しい風土を守り育てるまち	④就労支援と勤労者福祉の充実	④就労支援と勤労者福祉の充実												
		37	パーソナル・サポート・システムモデル事業	-	-	市民部	市民生活相談室	継続	平成23年度	平成24年度	日常生活における自立、社会的な生活への適応、経済的自立を希望する者に対して、個々の支援ニーズに合わせて支援策のコーディネートを行い、パーソナルサポーターを配置して支援体制を構築します。併せて、こうした様々な問題を抱える相談者に対応するため、地域全体の関係機関のネットワークを充実させモデル事業として実施します。	日常生活における自立、社会的な生活への適応、経済的自立を希望する者に対して、個々の支援ニーズに合わせて支援策のコーディネートを行い、パーソナルサポーターを配置して支援体制を構築します。併せて、こうした様々な問題を抱える相談者に対応するため、地域全体の関係機関のネットワークを充実させモデル事業として実施します。	23,599	0
4 美しい風土を守り育てるまち	①ふるさとの景観の保全と創出	①ふるさとの景観の保全と創出												
		38	景観行政の推進	228	13-1	都市建設部	都市計画課	継続	平成22年度	平成24年度	平成23年度に定めた景観形成方針に沿って、直接制限を受ける市民との合意形成を図りながら、本市の持つ自然、歴史、文化等から見た本市にふさわしい良好な景観保全と創出を図るため、景観法に基づく景観行政団体の適用を受け、景観計画を策定し、景観まちづくりを進めます。	景観計画を策定し、景観まちづくりを進める。	10,326	4,647

<有効性>施策の実現性に対して・・・A：非常に有効・B：まあまあ有効・C：どちらともいえない・D：あまり有効とはいえない・E：疑問がある
 <効率性>費用対効果が・・・A：非常に高い・B：まあまあ高い・C：どちらともいえない・D：あまり高くない・E：悪い
 <進捗度>事業の目標を・・・A：達成した（完了した）・B：予定通り進行中（継続中）・C：着手したが予定より遅延・D：未着手・E：中止等
 <総評価>事業を・・・A：今後も継続すべき・B：できれば継続すべき・C：どちらともいえない・D：中止してもかまわない・E：中止すべき

平成24年度計画		平成25年度予算		平成26年度予算		平成24年度実績評価（A・B・C・D・E）					備 考 （評価理由・今後の課題など）	
事業概要・年度目標	予算額 （千円）	内一般財源 （千円）	見込額 （千円）	内一般財源 （千円）	見込額 （千円）	内一般財源 （千円）	事業実績	有効性	効率性	進捗度		総評価
NHK大河ドラマの放映にあわせて、市内外を問わず、広域的に情報発信を行ってきた結果、県外からの観光バスツアー等の申込みや、個人来訪者の増加しています。今年度は、特に妓王寺への来訪者をターゲットに絞り、秋ごろの1ヶ月間に集中し、市民、自治会などを中心とした「まちおこしイベント」を開催し、観光資源の掘り起こしを行います。これに伴い、名産品を販売する「てんこもり市」とタイアップして実施し地元産の名産品等のPR、販路拡大につなげます。また、野洲川花火大会の復活により、観光客誘致へつなげていきます。	8,875	5,136										たでに着目し、たでと米粉を使用した商品が開発でき、今後のたでブランド開発の手がかりになりました。開発された商品を広くPRし、販路を拡大していく取り組みが必要です。妓王寺関連については、大河ドラマ放映が終わったあとも引き続き誘客に対する仕組みづくりが必要です。
相談事業 地域ネットワーク構築事業 居場所づくり事業(業務委託) 就労研修・支援事業 社会的就労事業(業務委託) の5事業を実施します。	13,006	0	—	—	—	—						
H24年6月に景観行政団体となるよう手続きを進めます。県景観計画の内容を踏襲し、野洲市独自の重点地区と景観形成基準等を加えた景観計画を10月に策定します。	6,634	2,985	—	—	—	—						景観計画策定に向けて市民意見を取り入れながら作業を進めます。重点地区の住民との合意形成が必要となります。24年6月に景観行政団体になる予定。景観計画は24年10月に策定予定

基本目標	施策	事業通番	基本事業	マニフェスト		担当部	所属名	新規継続拡充	計画期間		事業全体の概要	事業全体の達成目標	総事業費見込み	
				SEQ	政策項目番号				始期	終期			総額(千円)	内一般財源(千円)
4 美しい風土を守り育てるまち	②地域環境の保全と創造													
	②地域環境の保全と創造	39	里山、川、琵琶湖の環境保全	211 334	09-3 19-1	環境経済部	環境課	継続	平成 19 年度	平成 28 年度	ホテルが飛び交う川づくり、葦群落の再生、シジミが棲める琵琶湖再生活動、水源涵養としての里山保全事業等、山、川、農地、湖のつながりを重視した流域保全型の環境施策を実施します。そのために地域と密着して環境保全を進める団体の活動を支援し、その提案を積極的に取り上げ、協働・共同で施策を推進していきます。	環境基本計画の将来ビジョンの実現 ※具体的な目標数値に関しては、現在進行中の中間見直しで検討します。	31,691	31,691
		40	生活環境を守り育てる条例の適正運用と管理体制の強化	344	20-2	環境経済部	環境課	継続	平成 21 年度		生活環境を守り育てる条例の効果と問題点を見極めたのち、必要に応じた管理体制を強化し、安心安全な社会の整備のために市内企業との協力体制を整備します。	市民・事業者・行政が環境保全に関する情報を共有することで相互理解を深め、環境汚染や公害の発生を未然に防止し、互いに協力し合って地球環境への負荷を少なくする再生可能なエネルギーを積極的に活用する地域社会作りを目指します。	14,190	14,190
	③温暖化対策への取り組み													
	③温暖化対策への取り組み	41	環境配慮型住宅の普及促進	336	19-2	環境経済部	環境課	継続	平成 21 年度		省エネルギーに優れた高断熱・高機能住宅に再生可能エネルギーの導入を進める補助や税制上の支援制度を検討し実施します。	民生部門の温室効果ガス削減を目的に、高断熱住宅及び再生可能エネルギーの導入を進めます。	7,200	7,200
4 美しい風土を守り育てるまち	④廃棄物の抑制とリサイクルの推進													
	④廃棄物の抑制とリサイクルの推進	42	新クリーンセンター整備事業	-	-	環境経済部	環境課野洲クリーンセンター整備室	継続	平成 21 年度	平成 27 年度	現行のクリーンセンターが稼働の限界を迎えることから、新しいクリーンセンターの整備を行います。	現センターの隣地において新センターを整備し、平成28年度の稼働を目指します。 ・建設場所 大篠原3333-10他2筆 ・施設規模 熱回収施設43t/日 リサイクルセンター8t/日	4,983,000	596,000
5 うるおいとにぎわいのある快適なまち	⑤歴史的遺産の保護・継承													
	⑤歴史的遺産の保護・継承	43	博物館企画展開催事業	-	-	教育委員会	歴史民俗博物館	継続	-	-	野洲市の歴史と民俗に関わる文化遺産を、企画展にて紹介し、地域の歴史を発信して広めます。		-	-

<有効性>施策の実現性に対して・・・A：非常に有効・B：まあまあ有効・C：どちらともいえない・D：あまり有効とはいえない・E：疑問がある

<効率性>費用対効果が・・・A：非常に高い・B：まあまあ高い・C：どちらともいえない・D：あまり高くない・E：悪い

<進捗度>事業の目標を・・・A：達成した（完了した）・B：予定通り進行中（継続中）・C：着手したが予定より遅延・D：未着手・E：中止等

<総評価>事業を・・・A：今後も継続すべき・B：できれば継続すべき・C：どちらともいえない・D：中止してもかまわない・E：中止すべき

平成24年度計画		平成25年度予算		平成26年度予算		平成24年度実績評価（A・B・C・D・E）					備 考 （評価理由・今後の課題など）	
事業概要・年度目標	予算額 （千円）	内一般財源 （千円）	見込額 （千円）	内一般財源 （千円）	見込額 （千円）	内一般財源 （千円）	事業実績	有効性	効率性	進捗度		総評価
市民活動や環境学習を促進するためのシステムづくり、ヨシ群落再生事業を進めるための県自然再生協議会への参画、家棟川ピオトープ学習拠点の整備にかかる調査活動を行います。 また環境基本計画見直し業務のなかで、これまでの活動実績をふまえながら、さらに活動が実践的に発展し、行政との連携がスムーズになるよう市民と行政の役割を整理するとともに、成果の見える化のため指標・目標を設定します。	3,303	3,303	22,994	22,994	5,394	5,394						市民活動への賛同者や参加者を増やすための拠点整備と、核となる人材の確保を行います。 家棟川ピオトープ学習拠点の整備については、H24：調査設計、H25：建設予定で進めています。 環境基本計画において、より市民活動が活性化し、関係各課の事務事業との連携が図れるよう、計画の枠組みを整理するとともに、環境管理本部会議の運営改善を行います。
今後も条例に基づき市内の環境保全業務を推進していきます。 環境保全協定は当該年度末時点で概ね100工場・事業所と締結を目指します。	4,731	4,731	4,730	4,730	4,730	4,730						環境保全協定の締結 平成22年度：33社と締結済み（2社協議中） 平成23年度：27社と締結済み（3社協議中） 平成24年度：概ね35社 以上の工場・事業所と締結を目指します。
省エネルギー住宅普及促進補助金：次世代省エネルギー基準を満たす新築住宅に、太陽光発電システムを設置する者に対し、12千円/kWの補助金を交付 ■24年度 2,400千円 また、次年度に向け、野洲リバーサイドタウン等の大規模住宅開発に際し、国の動向を注視しつつ、地域全体で環境配慮型住宅の普及が促進する施策を企画立案します。	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400						野洲リバーサイドタウン等の大規模住宅開発の進捗状況により、今年度からの対応を検討する。
生活環境影響調査の実施、施設敷地造成基本設計、施設整備関係法令手続き資料の作成、立木伐採補償にかかる立木調査の実施のほか、用地交渉協議を行うとともに、地元要望事業にかかる実施計画の策定します。	81,885	55,590	523,840	123,900	845,600	78,467						・用地については、借地契約の方向※借地料は左記予算に計上していません。 ・要望事業については、実施計画を策定した後、予算計上する予定であり、左記予算には計上していません。 ・新センター稼働後、28年度において現施設を撤去（約257,000千円）。 ・29年度に余熱利用施設の建設（温浴施設例では約239,000千円）を目指し、整備構想、整備計画など別途事業化を進めます。
昭和の大岩山銅鑛発見50周年を記念した夏期企画展の開催と平家物語に関連した祇王井伝説などについての春期企画展を開催します。	597	197										限られた予算の中で、多数の来場者をえるために効率的なPRを行うことが大事。広報活動を工夫したい。

基本目標	施策	事業通番	基本事業	マニフェスト		担当部	所属名	新規継続拡充	計画期間		事業全体の概要	事業全体の達成目標	総事業費見込み		
				SEQ	政策項目番号				始期	終期			総額(千円)	内一般財源(千円)	
5 5 5 5 5 5	①均衡ある土地利用の推進	①均衡ある土地利用の推進	①均衡ある土地利用の推進												
			44	野洲～篠原間新駅の整備検討	216	10-4	政策調整部	地域戦略室	新規	平成24年度		JR野洲駅と篠原駅の間に新駅を設け、新たな地域拠点の創出を目指した取組みに着手します。	新駅設置による新たな地域拠点の創出のための課題整理と実現の可能性について研究します。		
			45	国土利用計画の見直し	-	-	政策調整部	企画調整課	新規	平成24年度	平成24年度	総合計画との整合を図るため見直しを行います。	総合計画との不整合箇所の解消。	630	630
			46	都市計画マスタープランの見直し	-	-	都市建設部	都市計画課	新規	平成24年度	平成24年度	総合計画、国土利用計画および交通ネットワーク整備計画との整合を図るため、見直しを行います。	都市計画マスタープランの改訂	2,500	2,500
			47	旧分庁舎改修（仮称 情報交流会館整備）	-	-	総務部	総務課	継続	平成22年度	平成25年度	平成22年5月の庁舎統合により未活用となっている旧分庁舎を改修し、商工会や工業会など各種団体の利用を図ることで、北部市街地における賑わいと活力あふれたまちづくりを推進します。	北部市街地の中核施設となる「仮称 情報交流会館」を整備することにより、地域の賑わいと活力あふれたまちづくりの創造を図ります。	97,080	8,280
			48	野洲駅周辺都市基盤整備	213 218	10-3 11-1	都市建設部	都市計画課	継続	平成22年度	平成25年度	市民や来訪者などすべての利用者に対して「安全・安心な空間」「良好な景観」「にぎわいのある空間」の実現のため、南北の駅前広場を整備します。	野洲駅周辺地区の基盤整備	560,000	12,600
49	篠原駅周辺都市基盤整備	217	10-4	政策調整部	企画調整課	継続	平成18年度	平成26年度	市民や事業者の利用や利便を適正に反映した整備となるよう、近江八幡市、竜王町と協調して事業を推進します。 全体事業費 2,418,234千円 （野洲市分 534,005千円） 全体事務費 16,752千円 （野洲市分 4,128千円）	平成26年度中の供用開始をめざします。	538,133	276,133			

<有効性>施策の実現性に対して・・・A：非常に有効・B：まあまあ有効・C：どちらともいえない・D：あまり有効とはいえない・E：疑問がある
 <効率性>費用対効果が・・・A：非常に高い・B：まあまあ高い・C：どちらともいえない・D：あまり高くない・E：悪い
 <進捗度>事業の目標を・・・A：達成した（完了した）・B：予定通り進行中（継続中）・C：着手したが予定より遅延・D：未着手・E：中止等
 <総評価>事業を・・・A：今後も継続すべき・B：できれば継続すべき・C：どちらともいえない・D：中止してもかまわない・E：中止すべき

平成24年度計画		平成25年度予算		平成26年度予算		平成24年度実績評価（A・B・C・D・E）					備 考 （評価理由・今後の課題など）	
事業概要・年度目標	予算額 （千円）	内一般財源 （千円）	見込額 （千円）	内一般財源 （千円）	見込額 （千円）	内一般財源 （千円）	事業実績	有効性	効率性	進捗度		総評価
JR協議等の調査研究												
総合計画との整合を図るための見直しを行います（単年度）。	630	630	—	—	—	—						平成25年2月議会での議決をめざします。 印刷製本は平成25年度。
平成25年2月議会へ都市計画マスタープラン改訂案を上程します。	2,500	2,500	—	—	—	—						国土利用計画の改訂作業、交通ネットワーク整備計画の策定作業との連携を図りながら、都市計画審議会において、改訂内容を審議する。 なお、国土利用計画の改訂作業、交通ネットワーク整備計画の策定作業の進捗状況により、改訂作業の工程等が影響を受ける可能性がある。
平成24年度 旧分庁舎改修完了 平成25年5月 入居完了	97,080	8,280	—	—	—	—						「仮称 情報交流会館」の機能などを広く市民に周知する必要があります。
・南口駅前広場の整備工事を行います。また、北口駅前広場の整備工事に着手します。	169,235	3,807	204,327	4,597	—	—						南口駅前広場については、平成25年度末の完成を目指します。 北口駅前広場については、野洲駅周辺地区整備検討委員会および広く市民意見を求めて整備案を検討し、平成24年度着手、平成25年度末完成を目指し、工事を進めます。
事業費 421,128千円 （野洲市分 74,098千円） 事務費 2,186千円 （野洲市分 503千円） 【事業概要】 アケ道路用地費 アケ道路補償費 駅舎等設計費 駅南等用地費 駅北補償費 アケ道路 進入路整備等	74,601	7,501	190,442	105,842	206,327	107,727						平成24年度当初を目途にJR西日本との協定書を締結します。 事業認可後、用地測量・補償物件調査、用地買収、工事と進め、平成26年度末の供用開始をめざします。

基本目標	施策	事業通番	基本事業	マニフェスト		担当部	所属名	新規継続拡充	計画期間		事業全体の概要	事業全体の達成目標	総事業費見込み	
				SEQ	政策項目番号				始期	終期			総額(千円)	内一般財源(千円)
快適なまち	土地利用の推進	50	市三宅土地区画整理	-	-	都市建設部	都市計画課	継続	平成22年度	平成26年度	平成14年および平成24年に市街化に編入された3.2haの土地について、地権者が組合を設立して土地区画整理事業を実施されており、市として費用助成および技術支援を行います。	健全かつ計画的な市街地の形成と地域の発展を図ります。	43,791	6,791
		51	野洲駅南口周辺整備検討	-	-	政策調整部	地域戦略室	新規	平成24年度		野洲駅南口の市有地を含め、周辺整備の構想を検討するため専門家や市民等で構成する検討委員会を設置し、にぎわいを出すために必要な機能等を検討します。	野洲駅南口周辺整備構想の検討をまとめ、課題の整理と課題解決の検討を行います。		
5 うるおいとにぎわいのある快適なまち	②道路ネットワークの整備													
		52	国・県道整備の促進	215	10-3	都市建設部	国県事業対策室	継続	-	-	・国道8号バイパス整備の早期着手と県道通称大津湖南幹線の事業化に向けて関係機関との協議及び事業促進活動を進めます。 ・県道小島野洲線の五差路の安全対策に向けて検討をします。	・国道8号の交通混雑の緩和や交通安全の確保、沿道環境の改善を目的として、国道8号BPの整備促進を図ります。 ・大津湖南湖南幹線の早期事業化を推進します。 ・小島野洲線の五差路において社会実験の実施をします。	-	-
		53	市街地における自転車優先ゾーン等の検討 交通バリアフリー対策における歩道改良による自転車通行利便性の向上	340 341	19-4 19-4	都市建設部	道路河川課	継続	-	-	・幅員に余裕がある道路や河川管理用道路などを対象に、自転車歩行者道の設置や幅員のゾーニング等の可能性を検証し、中心市街地等における安全な自転車通行を確保することで脱自家用車を促進します。 ・現在整備されている自転車歩行者道路のなかで整備が途切れている箇所を重点的に整備し、自転車や歩行者の安全を確保します。 ・中心市街地等における交通バリアフリー対策において実施する歩道の改良等においては、自転車の通行利便性を考慮した施工を行います。	当初計画との整合性を計り、路線ごとの事業計画内容を見直し、事業計画期間内の完了を図ります。	-	-
		54	交通ネットワーク整備計画の策定	-	-	都市建設部	国県事業対策室	新規	平成24年度		広域的な道路体系を市民のニーズや社会経済情勢の変化に即した形で見直し、適切な整備を進めます。整備計画策定検討委員会の設置	平成25年度実施の野洲市道路整備計画に反映する。	1,000 204	1,000 204
		55	道路橋梁長寿命化修繕事業	-	-	都市建設部	道路河川課	新規	平成25年度		長寿命化修繕計画に基づいて市内の主な道路橋梁の予防保全を進めることにより橋梁寿命の延伸を図り、維持管理経費のコストダウンを図る。	橋梁長寿命化計画に基づき財源確保に努める。	900,000	

<有効性>施策の実現性に対して・・・A：非常に有効・B：まあまあ有効・C：どちらともいえない・D：あまり有効とはいえない・E：疑問がある
 <効率性>費用対効果が・・・A：非常に高い・B：まあまあ高い・C：どちらともいえない・D：あまり高くない・E：悪い
 <進捗度>事業の目標を・・・A：達成した（完了した）・B：予定通り進行中（継続中）・C：着手したが予定より遅延・D：未着手・E：中止等
 <総評価>事業を・・・A：今後も継続すべき・B：できれば継続すべき・C：どちらともいえない・D：中止してもかまわない・E：中止すべき

平成24年度計画		平成25年度予算		平成26年度予算		平成24年度実績評価（A・B・C・D・E）					備 考 （評価理由・今後の課題など）	
事業概要・年度目標	予算額 （千円）	内一般財源 （千円）	見込額 （千円）	内一般財源 （千円）	見込額 （千円）	内一般財源 （千円）	事業実績	有効性	効率性	進捗度		総評価
埋蔵文化財調査費用に対する費用助成および技術支援を行います。	1,565	1,565										事業区域下流の河川整備が完了するまで、宅地としての使用が制限されます。 交通量の増加から、市道市三宅小南線の右折レーンの設置に伴う用地について、当該事業区域内での確保を検討する必要があり、事業の進捗に影響を与えらるゝと考えられます。 事業区域界が確定できていない箇所があります。 事業の実施自体に反対されている方がいます。
野洲駅南口の市有地を含め、周辺整備の構想を検討するため専門家や市民等で構成する検討委員会を設置し、にぎわいを出すために必要な機能等を検討します。	90	90										
・平成24年度 国道8号BP用地幅杭設置予定 ・平成24年度 比江工区、予備設計発注予定	—	—	—	—	—	—						地元対策委員会からの要望等に対応できるよう国道事務所と協議を進め、8号バイパス4車線高架構造の説明ならびに幅杭の設置について協議を進めます。
H23繰越路線3路線及びH24現年1路線となりますが、一部計画を見直します	127,890	5,755	252,320	11,354								道路バリアフリーを21年度から5カ年の整備予定対象路線14路線 21年度から5カ年の整備予定ですが、交付決定後の執行となるため発注時期が後期にずれ込み、次年度へのずれ込みが懸念され、最終年度の事業が集中してしまいます。
野洲市道路交通ネットワーク構想の検討、委員報償費	1,000 204	1,000 204										
			20,000		19,000							市が管理する橋梁は、平成24年度現在で338橋で架設している。 長寿命化対象橋梁は、このうち建設後50年を経過する橋梁が、全体の10%を占めており、20年後の平成44年には、65%程度に増加する。 これらの高齢化を迎える橋梁に対して、従来の対症療法型の維持管理を続けた場合、費用が増大となることか懸念される。

基本目標	施策	事業通番	基本事業	マニフェスト		担当部	所属名	新規継続拡充	計画期間		事業全体の概要	事業全体の達成目標	総事業費見込み	
				SEQ	政策項目番号				始期	終期			総額(千円)	内一般財源(千円)
5 うるおいとにぎわいのある快適なまち	③公共交通の利便性の向上													
	③公共交通の利便性の向上	56	じゅんかんバスの見直しと新たな地域公共交通システムの検討	212	10-1	市民部	生活安全課	継続	-	-	・じゅんかんバスについてそのあり方を見直すとともに、市民の移動利便性の確保のためにどのような交通手段が必要なのかを検証します。 ・この検証を経て、効率よく市民の移動利便性を確保できる事業を立案実施します。		-	-
	④快適な居住環境の確保													
④快適な居住環境の確保	57	下水道長寿命化計画策定事業	-	-	環境経済部	上下水道課	新規	平成24年度	平成29年度	既存の下水道施設を活用して耐用年数の延伸を図るための検討を行い、下水道施設の延命を図ります。	平成24年度において下水道長寿命化計画を策定し、概ね5年間にわたって市内にあるマンホールポンプ施設について、国庫補助金を活用しながら、施設機能の高度化と維持管理経費の平準化を図り、施設の維持管理経費の最小化を図ります。			
	58	水源地施設更新事業	-	-	環境経済部	上下水道課	継続	平成23年度	平成29年度	水源地施設を更新整備することにより、自己水の確保に努め、清浄にして低廉な水の安全・安定供給を図ります。	水源地及び配水池を改修することにより、安全で安定した給水事業を図ります。	556,900	140,000	
6 市民と行政がとものまち														
6 市民と行政がともに	①市民活動の促進													
	①市民活動の促進	59	まちづくり基金制度と政策提案制度の有機的な推進による市民活動の活性化	117	03-1	市民部	市民活動支援センター	継続	平成23年度	-	・政策提案制度を施行するとともに、「まちづくり基金」のうちの一定額については、政策提案制度による市民との協働事業に充てる財源とする制度を検討します。	市民との協働による行政を目指すため、これにこたえる市民活動団体育成を目的として、当該制度は創設されました。目標としては、年間5団体、3年間で15団体の発足を念頭においています。		-
60		市民活動体験事業の実施と、きっかけになる活動の企画及び提供	122	03-2	市民部	市民活動支援センター	継続	平成22年度	-	退職シニア層（団塊世代）の経験と能力を生かせる場（既存の市民活動団体）の紹介や、新たな活動の企画やその育成をサポートします。	当初の予定どおり「とことん野洲」事業として年6回程度、平成22年度及び23年度は開催されています。（参加人数は、毎年度、のべ160人前後）数値化された目標としては、参加人数のべ200人程度を考えています。		-	-

<有効性>施策の実現性に対して・・・A：非常に有効・B：まあまあ有効・C：どちらともいえない・D：あまり有効とはいえない・E：疑問がある
 <効率性>費用対効果が・・・A：非常に高い・B：まあまあ高い・C：どちらともいえない・D：あまり高くない・E：悪い
 <進捗度>事業の目標を・・・A：達成した（完了した）・B：予定通り進行中（継続中）・C：着手したが予定より遅延・D：未着手・E：中止等
 <総評価>事業を・・・A：今後も継続すべき・B：できれば継続すべき・C：どちらともいえない・D：中止してもかまわない・E：中止すべき

平成24年度計画		平成25年度予算		平成26年度予算		平成24年度実績評価（A・B・C・D・E）					備 考 （評価理由・今後の課題など）	
事業概要・年度目標	予算額 （千円）	内一般財源 （千円）	見込額 （千円）	内一般財源 （千円）	見込額 （千円）	内一般財源 （千円）	事業実績	有効性	効率性	進捗度		総評価
平成23年度からの運行で課題となっている一部路線での定員超過や市民からの要望等を踏まえ、平成24年度から1路線を増加させ中央循環コースの運行を開始しました。現行のバス運行委託契約が平成24年度末までとなっているのでバス会社等からの提案意見を検討の上、安全性と利便性を考慮した運行体制の充実を図っていきます。	40,364	30,546										現行の運行委託契約が今年度末で終了するので今後の運行体制を定めることが必要 現行車両の損耗等が進むので中長期的な見通しを持つことが必要
・下水道長寿命化計画の策定	17,000	8,500										・平成24年度に計画策定を実施することから、現在のところ総事業費等が判明していません。 ・今回の事業については、マンホールポンプ及びマンホール蓋を対象にしており、今後管路整備についても必要。
・比江水源改修 脱炭酸塔整備 ポンプ井工事 場内配管工事 ・南桜水源地 4号井戸修繕 ポンプ修繕	103,792	26,151	231,229	57,800								・耐震化等の施設更新を実施することにより、安全で安定した水供給に努めることにより、多額な経費が必要となります。現状においても水道事業経営が厳しい中で、水道料金の改定を併せて検討が必要。
市内で活動する市民活動団体に対して、設立支援または活動初期段階の活動支援を行うことを目的として1団体5万円を限度として5団体に補助します。	250	0	250	250								対象団体が増加した場合、補助金の上限額の検討が必要となります。
課・野洲市内関係団体で退職シニア層のボランティア市民活動等促進意見交換会の設置・会議開催 年5回 ・退職シニア層を対象とした「とことん野洲!!」の年間6回開催（市長講演会の開催）	50	50	50	50	50	50						自主的にセミナーを運営できる団体の育成をめざします。 今後、さらにもものづくり経営交流センターや商工会等の関係機関と連携を図る必要があります。

基本目標	施策	事業通番	基本事業	マニフェスト		担当部	所属名	新規継続拡充	計画期間		事業全体の概要	事業全体の達成目標	総事業費見込み		
				SEQ	政策項目番号				始期	終期			総額(千円)	内一般財源(千円)	
つくるまち 6 市民と行政がともにつくるまち 6 市民と行政がともにつくるまち	②市民との情報共有の推進														
	②市民との情報共有の推進	61	総合計画の進捗管理と評価の実施	133 134 135 138	04-2 04-2 04-3 05-1	政策調整部	企画調整課	新規	平成24年度	-	総合計画の成果測定の一環としてロードマップの進捗管理と評価を実施。内部評価と外部評価を組み合わせ実施し、結果を公表することで進捗管理の透明性を確保します。	総合計画に基づいて実施している主要事業やその進捗状況について、市民にわかりやすく公表できるシステムを構築します。			
		62	現場主義の徹底と広聴事業の充実	150	07-2	政策調整部	広報秘書課	継続	-	-	・「元氣な野洲まちづくりトーク」制度を運用し、市長自らが現場の声をしっかりと認識するよう努めます（現場主義）。 ・また、既存の「市長への手紙」等の広聴事業について、可否含め着地点を明確に述べる対応をめざし、事後のマネージメント制度を確立します。	広聴制度を市民に広くPRして、気軽に利用できる環境づくりを進め、団体については、まちづくりトーク、個人については、市長への手紙によって、市政に関する課題を把握するとともに、市民の提案を市政に反映させていきます。			
	③長期的展望に立った財政運営														
	③長期的展望に立った財政運営	63	予算編成手続き公開の実施	147	06-3	政策調整部	財政課	継続	-	-	次年度当初予算編成過程において、主要段階での中間決定の結果を市のホームページ及び情報公開コーナー等で公開します。また、予算編成の市民懇談会を市長査定前で実施します。	新年度当初予算編成において、事業ごとに要求額、一次査定（政策調整部長査定）額及び市長査定（最終査定＝当初予算案）額をホームページ及び情報公開コーナーで周知します。また、一次査定と市長査定との間で市民懇談会（2会場の予定）を実施し、市民の意見を踏まえ、市長の査定作業に臨みます。			
		64	(仮称)財政改革プランの策定	-	-	政策調整部	財政課	継続	平成23年度	平成24年度	平成27年度からの普通交付税の減少（特例措置の減少）など、これからますます財政状況の厳しさが増すことが想定されることに鑑み、数億円の経常一般財源の減少に対処するには、主には経常経費の削減で対応することが必要なことから、そのための財政構造の改革を図ります。	普通交付税については、平成23年度の算定において合併算定替と一本算定との差額が約8億円で、今後もその程度の差額が続くと仮定すれば、特例措置がなくなる平成32年度には今よりも経常一般財源が約8億円少なくなることになります。この間に、飛躍的な税収の伸びがない限り、この財源は、基本的には歳入の増よりも歳出の削減に比重を置いて生み出すこととします。	20	20	
	④効果的・効率的な行政運営														
	④効果的・効率的な行政運営	65	施策評価制度の充実	351	21-3	政策調整部	企画調整課	新規	平成24年度	-	行政評価の観点から政策・施策評価のあり方や総合計画ロードマップの進捗管理との整合等について検討整理します。	作業等による各所属の負担をできるだけ少なくした簡潔な評価システムの構築をめざします。	-	-	

<有効性>施策の実現性に対して・・・A：非常に有効・B：まあまあ有効・C：どちらともいえない・D：あまり有効とはいえない・E：疑問がある
 <効率性>費用対効果が・・・A：非常に高い・B：まあまあ高い・C：どちらともいえない・D：あまり高くない・E：悪い
 <進捗度>事業の目標を・・・A：達成した（完了した）・B：予定通り進行中（継続中）・C：着手したが予定より遅延・D：未着手・E：中止等
 <総評価>事業を・・・A：今後も継続すべき・B：できれば継続すべき・C：どちらともいえない・D：中止してもかまわない・E：中止すべき

平成24年度計画		平成25年度予算		平成26年度予算		平成24年度実績評価（A・B・C・D・E）					備 考 （評価理由・今後の課題など）	
事業概要・年度目標	予算額 （千円）	内一般財源 （千円）	見込額 （千円）	内一般財源 （千円）	見込額 （千円）	内一般財源 （千円）	事業実績	有効性	効率性	進捗度		総評価
総合計画外部評価委員会の設置 具体的な評価手法の検討	99	99	99	99	99	99						外部評価委員会では、受身の評価だけでなく、委員からの施策提案も受けられるようなシステムを検討します。
まちづくりトークの開催。 市長への手紙などの対応、公開。	-	-	-	-	-	-						年度により課題が異なるために、処理件数を成果指標とはできません。ただし、ホームページでの公開を月一回としたため、市ホームページのフォームによる提案・要望が増加していると考えています。
平成25年度当初予算編成においては、これまでどおり、事業ごとに要求額、政策調整部長査定額及び市長査定（当初予算案）額をホームページ及び情報公開コーナーで周知するとともに、一次査定と市長査定との間で市民懇談会（2会場の予定）を実施し、24年度当初予算編成と同様に市長の最終査定前に1回は平日の夜、もう1回は土曜日又は日曜日に懇談会を行います。	10	10	10	10	10	10						市民懇談会の開催について、広報とホームページで実施月の1月に周知していますが、参加者の増加を図るため、例として予告をそれ以前に載せるなどの方策も考える必要があります。
平成21年度に策定した財政健全化集中改革プランでは、財務体質の改善のほか、平成22、23年度の2箇年に限定したものがあがるが、今次の(仮称)財政改革プランは、期間限定のものを極力抑制し、当分の間、継続することを基本に、費用対効果の高いものを優先する中で、財務規律の向上を図りながら、財源を捻出するプランを議会や市民の意見を徴した上で策定します。なお、策定期間は、来年度予算編成前の10月とします。	20	20	-	-	-	-						億単位の経常経費の削減には、施設の閉鎖（これによる職員の削減も可）が避けられないことになる可能性が極めて高く、また、増加の一途をたどっている扶助費にも手を付けることも必要と考えられることから、市民の理解を求める対策が必要です。
行政評価のあり方について検討を進めます。	-	-	-	-	-	-						担当課の負担を軽減する方策として、総合計画ロードマップの進捗管理の中で施策評価を行えないか検討が必要です。